

## 令和3年度のぞみ保育園自己評価結果

### 1. 進め方

まず、前年度受診した第三者評価結果のカテゴリーの中から職員の自己評価の低かった5項目を抽出し、職員会議で検討して5-1-4「就業状況（勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど）を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる」と6-4-6「メニューや味付けなどに工夫を凝らしている」の2項目に絞った。この2項目について職員が個々にSWOT分析して職員会議で集約し、課題を整理した。その中で「安心して働き続けられる職場づくり」については午睡体制と事務時間確保の二つのポイントがあることが分かった。

そこで午睡体制、事務時間確保、メニューや味付けの3項目についてそれぞれ小委員会を作り、現状分析と改善策の検討を進めた。しかし1月末から新型コロナウイルスの感染が広まったのぞみ保育園は部分休園となってしまい、自己評価の検討作業を中断せざるを得なかった。その為まとめが不十分になってしまった。

### 2. のぞみ保育園の強み、弱みの集計結果（SWOT分析から）

○「就業状況を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる」

#### <強み>

- ・子育てなどに配慮してシフトを組んでもらえる
- ・他園に比べれば休暇を取りやすい

#### <弱み>

- ・長期休暇が取りにくい
- ・有給休暇が初年度から20日付与されているが、消化できない
- ・事務作業が休憩時間にも食い込む
- ・パソコンの処理速度が遅く、事務作業に時間がかかる

○「メニューや味付けなどに工夫を凝らしている」

<強み>

- ・子どもの味覚に合わせた味付けをしている
- ・雑穀米等いろいろな食材を使用している
- ・子どもの状況に応じて形態等配慮している
- ・毎月の給食会議で意見交換して献立に反映している
- ・日常的に食材に触れたりして食育を実践している

<弱み>

- ・メニューがマンネリ化している
- ・果物など季節感に乏しい
- ・子どもが好きなメニューが少ない
- ・酸っぱい味付けが多い
- ・食材の切り方がそろってなく、子どもが食べにくい時がある
- ・盛り付けが華やかではない

3. 強みを生かすための方策、弱みを解消するための方策（職員会議で集約）

○「就業状況を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる」

<午睡体制>

- ・午睡補助に入れる職員を増やす
- ・クラス間のフォローを強化する

<事務時間確保>

- ・会議の一部を事務作業の時間にあてる
- ・半日単位で、事務作業の日を設ける
- ・毎日15～30分事務作業で超勤する
- ・コロナ禍で子どもと一緒に食事できないので、食事時間を休憩にする
- ・必要な事務時間の把握
- ・パソコンの更新

<その他>

- ・ 勤怠管理の ICT 化
- 「メニューや味付けなどに工夫を凝らしている」
  - ・ 子どもの食べたいメニュー
  - ・ 郷土料理や世界の料理
  - ・ ○○料理の日を作る
  - ・ バイキング
  - ・ パンや果物の種類を増やす
  - ・ 誕生会メニューでトッピングなどの飾りつけをする
  - ・ 食事前に子どもたちにメニューの説明をする
  - ・ 保護者アンケートをする
  - ・ 他園などの情報を集める
  - ・ 献立委員会を立ち上げる

4. 小委員会での検討結果

○午睡体制

- ・ 職員の配置場所を見直す
- ・ 乳児担任が幼児補助に入り、事務作業をする

○事務時間確保

- ・ アンケートによる実態調査を実施する
- ・ 早番帯に事務時間を確保する
- ・ 事務作業できる場所を増やす
- ・ 事務作業による超過勤務の範囲を明確化する

○メニューや味付け

- ・ 栄養士にメニュー開発の時間を確保する
- ・ 毎月、幼児クラスからリクエストメニューを出してもらう
- ・ パンや果物の種類を増やす